



ぬくもりこもる 手作りのマフラー

田中さんに見守られ、一生懸命作業をする小林さん。世間話に時折笑顔がこぼれる



素材の良さを生かして作られる製品



森に囲まれた静かな作業場で、草木染めされた糸が、少しずつ、少しずつ織られていく。「織り目をもうちょっと空けて。そうすれば柔らかく仕上がるとよ」。指導者の田中朋也さん(46)が、機織り機を操る女性に優しくアドバイスを送る。

七沢にある地域活動支援センター「七沢森の家」。11人の障がい者が通い、マフラーやエプロン、木のアクセサリなどの布製品や木工品を作っている。素材で温かみのある製品は支援センターの他、地域の祭りやバザーでも販売。年代、性別を問わず好評を得ている。

機織り機の前に座る小林信枝さん(38)。視覚障害と中度の知的障害があり、複雑な作業は難しい。それでも毎日4時間、田中さんの助言で4つの踏み板を使い分け、糸を織り続ける。およそ2日で、1本のマフラーが織り上がる。

所長の中村義也さん(66)は「みんなここが好きで通っているし、本当に真面目に仕事をしてくれている」とほほ笑む。敷地内には通所者が手入れるハーブ園が一般開放され、摘みだての葉で入れたハーブティーを味わうこともできる。

「大変だけど、作った物が売れると楽しい」と照れながら話す小林さん。自然のぬくもりが包まれた作業場には、いつも働く喜びがあふれている。

●七沢森の家 240局63208
市内の事業所などで働く障がい者の手作り製品を展示・即売します。詳細は7面をご覧ください。

目次	2面 再生可能エネルギー導入を推進 太陽光や水力など、注目が集まっている再生可能エネルギーの活用に向けた取り組みや導入事例を紹介します。	3面 「人権」を守る取り組み 12月の人権週間にちなみ、日ごろから人権問題の相談に応じている人権擁護委員の活動内容をお知らせします。	4・5面 笑顔あふれる子ども会 ことして設立50周年を迎える子ども会。地域の将来を担う子どもたちを支える活動とその魅力をお伝えします。	6・7面 タウンガイド 催し・講座・子育て・募集・お知らせなど、暮らしに役立つ便利な情報が満載。
-----------	--	--	---	--



七沢の水力発電設備。身近な自然の力を生かして発電している

自然の力を有効利用

市では昨年8月、再生可能エネルギーの導入に向けて大学や企業の専門家などを交えた検討委員会を発足しました。委員会では現在、環境に優しい都市を目指し「あつぎ元気地域エネルギー構想」の策定を進めています。構想の策定と同時に、市では太陽光発電の導入促進など具体的な取り組みも積極的に推進しています。

小さな水力を利用して発電された電力は、不法投棄の禁止を呼び掛ける看板の点灯に使われています。ハイキングなど観光客が多い場所に設置することで、不法投棄防止の啓発だけでなく再生可能エネルギーの活用を広くPRする効果も期待できます。

管理を担当する七沢観光協会会長の福澤義隆さん(69)は「モデルケースとして多くの人に見てほしい。地域の振興にもつなげたい」と期待を寄せます。

その他、県が進める大規模な太陽光発電設備「メガソーラー」の誘致も推進しています。土地所有者や県と協力

トピック 温暖化防止

環境に優しいまちを目指して

再生可能エネルギー導入を推進

昨年8月の原発事故以降、太陽光や水力、風力などの再生可能エネルギーの活用が目まぐるしく進んでいます。市では、これらのエネルギーを利用した発電装置導入への補助など、エネルギーの地産地消と有効活用に向けた取り組みを進めています。

あつぎ元気Wave
CATV12/1~放送

家庭での取り組みが大切

環境に優しいまちづくりを進めるためには、家庭での取り組みが大切です。市は住宅用蓄電池の設置や電気自動車の導入などに対して助成するなど、再生可能エネルギーへの転換を推進しています。平成15年度に開始した住宅用太陽光発電システム設置に対する補助は、累積で約1600件に上り、着実に導入が進んでいます。

環境への配慮を

再生可能エネルギーは、石油などの化石燃料と比べ地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出が少ない、環境に優しいエネルギーです。太陽光、水力、地熱など自然に存在する力を活用するため、無限に利用が可能です。市では、「みんなでつくる、自然環境と共生するまち」を目指し、今後も再生可能エネルギーの導入や有効活用に向けた取り組みを進めていきます。

環境総務課 ☎225局2746

太陽光発電事業用地を募集

市内での再生可能エネルギーの導入を進めるため、太陽光発電設備を設置できる土地を募集しています。

《内容》

応募があった土地の情報を市ホームページに掲載し参入事業者を募ります。

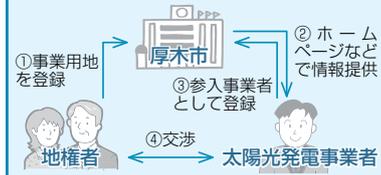
《募集要件》

- ①申請者が土地所有者
- ②日当たりの良い土地
- ③面積が概ね1,000㎡以上
- ④農地の場合転用許可を受けられること

《申し込み》

環境総務課にある応募用紙(市ホームページからダウンロード可)に必要事項を書き、直接または郵送、Eメールで平成25年3月31日(必着)までに〒243-8511 環境総務課 ☎225局2476・e-mail=3100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

事業イメージ



12月は地球温暖化防止月間

進めよう
CO2
削減

冬季は、暖房器具の使用などでCO2の排出量が増加します。少しの工夫が地球温暖化防止につながります。

- ◆暖房の温度は低め(20度が目安)に設定する
- ◆窓から熱を逃がさないようにカーテンや雨戸を閉める
- ◆ドアを閉めるなど暖める範囲を狭める
- ◆重ね着などで体を温かく保つ
- ◆湯たんぽ・膝掛けなどを利用する

ひとまち元気



パネルディスカッションの様子

厚木市長
小林 幸良

11月6日、市内の事業所や大学、金融機関の皆さんに集まっていた「あつぎものづくりブランド交流会」を開催しました。

パネルディスカッションでは、地域経済活性化に懸ける皆さんの熱い思いをたくさん聞くことができました。今後、企業間や産学の連携がさらに進めば、技術革新や新産業の創造につながるのではと大いに期待しています。

市内には優れた企業が数多く立地しています。県内有数の産業集積を本市の「都市ブランド」の一つと捉え、さまざまな事業を展開しています。

その一環として、市内の優れたものづくり企業50社と5大学を紹介する冊子「あつぎものづくりブランド2012」を作成しました。冊子には厚木市の先進性や優位性をPRし、企業誘致につなげる狙いもあります。

活力に満ちたまちをつくるには、経済の成長と雇用の確保が欠かせません。地域経済の活性化に向け、積極的な取り組みを進めます。



窓口では人権擁護委員が親切に相談に応じる

トピック
人権

誰もが持っている権利 「人権」を守る取り組み

人権は、人間が人間らしく生きるために誰もが生まれながらにして持っている権利です。市では、人権をめぐる問題に対応する相談窓口を設置。問題の解決に当たる人権擁護委員と連携し、差別やいじめなどの人権侵害から被害者を守ります。

一人で悩まず相談を

人権の侵害は、加害者・被害者を問わず誰もが当事者になり得る身近な問題です。被害を受けている人は大きな精神的負担を負っています。負担を和らげるには、早期の相談が大切です。「話を聞いてもらって気持ちが楽になった」「問題を解決のきっかけになった」。市が設置する相談窓口を訪れた方からは、このような声が寄せられています。12月5日には、人権週間特設人権相談を実施(左欄参照)。職場や家庭、地域でのトラブルや人権侵害など、一

高齢化や国際化、女性の社会進出など、現代社会は刻々と変化を遂げていきます。それに伴い、学校や職場でのいじめの他、女性や外国人への不当な差別、高齢者や児童への虐待、インターネットを悪用した中傷など、さまざまな人権侵害が発生しています。取り組みをしなければならぬ多くの人権問題を抱えている私たちの社会。12月4日から10日は人権週間です。この機会にみんなが幸せな生活を送れるよう人権問題を見つめ直しましょう。

相談に乗る人権擁護委員

人権問題の相談を受けるのは、市町村ごとに置かれた人権擁護委員。人権擁護活動の担い手として法務大臣の委嘱を受けて就任するボランティアです。主な役割は次の3つです。
①地域住民からの人権相談に面談や電話で対応(左欄参照)
②法務局の職員と協力して人権侵害による被害者を救済する活動
③人権問題に関心を持ってもらうための啓発活動
市では現在、元警察職員や僧侶などの経歴を持つ14人の委員がこうした活動をしています。

相手の立場で解決を模索

市の相談窓口へ寄せられる人権相談は、騒音などの近隣トラブルや夫婦関係などの家庭問題が多くを占めています。人権擁護委員が必要な助言をする他、弁護士相談などを紹介して問題解決の手助けをしています。人権侵害が

人権問題についての相談はこちら

人権相談窓口

- 人権週間特設人権相談(市役所本庁舎)
12月5日、9時~12時、13時~16時
 - 市役所本庁舎1階総合相談コーナー
毎月第1~4水曜、13時~16時
 - 横浜地方法務局厚木支局(寿町3-5-1)
毎週木曜、10時~16時
- ※以上の窓口では人権擁護委員が相談に対応。

専用電話による人権相談

- 人権相談ダイヤル(みんなの人権110番)
☎0570・003・110
- 女性の人権ホットライン
☎0570・070・810
- 横浜地方法務局
☎045・641局7926



人権を尊重し合える社会に

市では、引き続き相談体制の充実に努める他、人権擁護委員の協力を得て、市民の皆さんに向けた人権意識の啓発活動をしています。
講演会や中学生人権作文・ポスターの募集、「公民館まつり」での啓発物の配布、子どもに人権の大切さを伝える映画の上映会などを実施。人権を尊重し合える社会の実現を目指して、差別やいじめなどの人権侵害から被害者を守る取り組みを進めています。

☎人権男女参画課 ☎25局2215

「安心安全都市」の新たな挑戦④

~防犯パトロール隊の活動~

平成16年に設置された防犯パトロール隊は、身近で発生している犯罪の抑止力を高めるために、市内を定期的にパトロールしています。警察官OBの市民安全指導員が、青色回転灯を搭載した「パトちゃん号(防犯パトロール車)」で巡回。犯罪発生時の緊急パトロールや不審者情報に対する警戒活動などもしています。さらに「あつぎセーフティステーション番屋」を拠点に、防犯相談に応じたり、啓発活動を実施したりするなど、市民の皆さんの安心・安全の確保に努めています。



防犯パトロール隊は子どもたちの下校の見守りも実施

☎くらし安全課 ☎25局2148

このコーナーでは、セーフコミュニティの認証取得後も続いている市や地域の安心・安全への取り組みを紹介します。

子どもの人権侵害の相談窓口

子どもをめぐる人権問題は、家庭での体罰・児童虐待や学校でのいじめなど、周囲の目に付きにくいところで発生します。問題を早期に解決するために、さまざまな相談窓口を設置。人権擁護委員が親身になって相談に応じしています。

子どもの人権SOSミニレター

電話では相談しにくい内容にも対応できる人権相談。小・中学校に配布した便箋兼封筒により、身近な人にも言えない悩み事に、人権擁護委員が返事を書くなどして応じています。



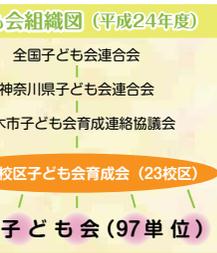
子ども人権110番

いじめなどの子どもの人権問題に関する電話相談です。人権擁護委員が悩み事を聞き、解決策などを一緒に考えます。
☎0120・007・110
平日、8時30分~17時15分

地域で支えて50年 笑顔あふれる子ども会

地域の将来を担う子どもたちを育てるため、なくてはならない子ども会行事やイベントを通じて子どもたちの健やかな成長を支えています。今回の特集では、長年にわたって元気に育んでいる子どもたちを育てた子ども会活動をご紹介します。

市子ども会は昭和37年4月に発足し、今年で50周年を迎えました。現在、市内の小学1年生から6年生のおよそ4300人が加入しています。祭りやレクリエーション、キャンプなどさまざまな行事・イベントを実施。活動を通じて、子どもたちは健やかに成長し、欠かせない大切な事を学んでいます。



地域に根ざした活動

可能性を生み出しています。子ども会には地域で支えられている活動です。活動には役員や保護者だけでなく、地域住民の協力が必要です。「この手、この心、この声、この力」も負けて下さい。瀬戸すきや子ども会(清水小学校区)では、毎年近くの農家が畑を借りて、手掘りを体験しています。子ども20人ほどの子どもが地域の大人たちと一緒に、サツマイモの収穫に汗を流しました。



子どもたちと笑顔で手掘りをする山本さん(右から2番目)

「見て見て、きれいにできました。」、荻野小学校の体育館では、子どもたちがクリスマスツリーの飾り付けの真っ最中です。参加したのは、中荻野子ども会と宮本第一子ども会、みほの野自衛会と保護者の他、役員、ジュニアリーダー、スタッフメンバーが和気あいあいと作業を進めています。完成した作品は、荻野小学校の校庭にあるイマラヤ杉に飾り付けられます。

「手を切らないように気を付けて。」、小学生に優しく声を掛けるのは高橋岳人さん(17)高橋。子ども会の活動をサポートするジュニアリーダーを務めています。「下級生から中学生、大人とさまざまな年齢の人と交流ができるのが子ども会の良いところ。そう話す高橋さんは、自分も体験してきた子ども会の魅力をもっと多くの人に伝えよう、と、子どもたちのハイブ役として積極的に行事に顔を出しています。一緒に作業を楽しんだ堀野太さん(8)みほの野は「お兄さん、お姉さんがいっしょに優しくしてくれる。作品を褒めてもらってうれしい」と笑顔を見せます。年齢を超えた交流は、子どもたちの遊びや活動の幅を広げ、新しい発想や

地域への愛着心を育むだけでなく、大人同士のつながりも生んでいます。子どもたちと一緒に手掘りを楽しんだ役員山本泰代さん(42)妻田北は「活動を通して、地域の皆さんに親子で顔を覚えてもらえたことが嬉しです。活動を守る大人たち」

加入率の向上や子ども会活動の充実を図るため、市子ども会育成連絡協議会では、月に一度、役員会と小学校区の育成会長などと一緒に協議会を開いています。親子でイベントに参加した保護者が活動に理解を深めて加入した成功例や行事の反省点、改善点などを持ち寄り共有。さらに、全として存続が難しい地域では自治会と協力して活動するなどの解決策を模索しています。

では子どもの手による子ども会活動を目指しています。活動に携わる大人たちは、子どもが主体的に取り組むことができるように手を出さず、目を離すなをルールに活動を見守っています。

青少年の健全育成に向けて

子ども会は、地域の将来を担う子どもたちが地域性や協調性を育む場です。市では、子どもたちが元気で心豊かに成長できるよう子ども会の活動を支援。青少年の健全な育成を積極的に推進しています。さまざまな人と交流を通じて自立性や社会性が持てるよう、地域が子どもを育てる活動は、行かちから推進しています。◎青少年課◎225局2580



作業のアドバイスをするジュニアリーダーの高橋さん(右)と一生懸命説明を聞く堀さん(右から2番目)

自主性を育む場



子ども会育成連絡協議会会長 若杉重美さん

小学生が異年齢の子と交流ができる一番身近な機会、それが子ども会活動です。身体的な成長は外で遊ぶだけでも培われますが、心のたくましさは違っています。子どもたちはみんな、上級生になるにつれて自然とリーダーシップを取ったり、下級生の面倒を見たりするようになります。我慢することや達成感も、自分から覚えています。子どもたちの成長を見守り、サポートするのが私たち役員や保護者の役割です。子ども会は、子どもがその場で行事を楽しむだけのものではありません。親同士の交流を広げる場でもあります。親子共に成長できるということが子ども会の魅力です。



初体験のゲームに夢中になる子どもたち



年齢、地域を超えた交流を楽しむ参加者

設立50周年記念特別事業 ドリームキッズアドベンチャー開催

50周年を記念して11月、荻野運動公園の体育館でイベントが開催されました。子ども会員や保護者ら約500人が参加し、体を使ったゲームなどを楽しみました。

いっしょに活動しませんか



■子ども会員 《対象》小学生とその保護者 ◎各地区の子ども会または子ども会育成連絡協議会◎221局11110へ。

■ジュニアリーダー 《対象》中学1年生～高校2年生 ◎青少年課や市ホームページにある申込書に入会金200円を添えて、直接青少年課へ。

50年間の歩み



あつき 元気Wave CATV12/11～放送

儀の説明。定員各回50人。無料。
12月1日～14日に市斎場281局
8595へ。申し込み順。

平和パネル展

12月8日～14日、10時～17時(14
日は15時まで)。総合福祉センター。
戦争の悲惨さや平和の尊さを後世
に語り継ぐため、市遺族会の遺族
が保存している遺品などを展示。
福祉総務課225局2200。

あつぎ2013元旦マラソン

1月1日、9時30分～(受け付けは
8時30分～)。東京工芸大学(飯山
1583)。小学生以上1.5*、中学生
以上3*、一般(高校生以上)5*。
200円(保険料含む)。当日直接
会場へ。あつぎ元旦マラソン実
行委員会・中村080・1051・3962。

スポーツ全国大会などの
出場者情報を募集

県または日本代表として、平成
24年中に全国規模または国際大会
に出場した市民や市内の学校、事
業所などの情報を募集します。東
町・猿ヶ島・南毛利スポーツセン
ター、及川球技場にある報告書
(体育協会ホームページからダウ
ンロード可)に必要事項を書き、
大会の詳細が分かる資料(開催要
領など)を添えて各施設窓口また
は郵送、ファクス、Eメールで、
1月15日(必着)までに243-0039
温水西1-27-1体育協会247局
7212・248局7151・e-mail=info@
atsugi-taikyo.or.jpへ。

市保健事業嘱託員募集

《対象》保健師《内容》保健指導、
健康相談、健康教育など母子保健
や成人保健業務(一方でも可)《期
間》平成25年4月1日から27年3月31
日(延長有り)。健康づくり課225
局2201。

市立病院看護職員募集

《試験日》1月20日。随時試験は
申込書に試験希望日を記入(既卒
のみ)《対象》①助産師または看
護師免許を有する②平成25年実施
の助産師または看護師国家試験で

免許取得見込みのいずれかに該
当する方10人。定年60歳。市立
病院、市役所本庁舎、本厚木・愛
甲石田駅連絡所にある申込書を試
験日の9日前(必着)までに直接
または郵送で243-8588経営管理
課221局1570へ。病院見学を希
望の方は、希望日の1週間前まで
にご連絡ください。

市宿日直業務嘱託員募集

市庁舎における宿直業務と週休
日、休日の日直業務を行う市宿日
直業務嘱託員を募集します。《対
象》20歳以上65歳以下で健康
な方2人《期間》平成25年4月1日
から26年3月31日(更新有り)。
12月1日から市役所本庁舎、本厚
木・愛甲石田駅連絡所で配布する
申込書(市ホームページからダウ
ンロード可)に必要事項を書き、
12月10日～13日に直接職員課225
局2070へ。後日面接を実施。

特定健診の受診はお済みですか

特定健康診査(特定健診)の受診
は1月31日までです。健康のパロ
メーターとして年に1回は受診し、
生活習慣病の早期発見につなげま
しょう。特定健診の受診券をなく
した場合は再発行できます。国保
年金課225局2120または健康
づくり課225局2201。

市立病院の眼科外来診療

眼科の外来診療には、受け入れ
体制を超える患者が集中しています。
体制の拡充に努めていますが、
当の間、初診は紹介状をお持ち
の方のみとさせていただきます。
経営管理課221局1570。

社会保険料控除の対象となる
保険料額のお知らせ

平成24年中に納めた①国民健康
保険料②後期高齢者医療保険料③
介護保険料は、所得税や市・県民
税の申告時に社会保険料控除の対
象となります。対象者には1月中
旬にハガキでお知らせします。
①国保年金課225局2123②国保
年金課225局2223③介護保険課
225局2393。

あつぎ元気Wave
12月の広報番組ガイド
12月1日～10日 ◆自然を生かしたエネルギー
市内にあるマイクロ水力発電設備や太陽光パネル設備を紹介
12月11日～20日 ◆地域を守る消防団
身近な防災の担い手である消防団の活動を紹介
番組はホームページ動画配信 あつぎ元気Wave 検索 CATV放送開始後に配信

年末美化清掃に参加しましょう

12月9日(荒天時は16日)。道路
や公園など公共の場所を清掃しま
す。時間・場所は、自治会の回覧な
どで確認してください。きれいな
まちで気持ちよく新年を迎えま
しょう。生活環境課225局2750。

工業統計調査に協力を

製造業を営む4人以上の従業者
がいる事業所を対象に、12月31日
現在で工業統計調査を実施しま
す。12月中旬から調査員が事業所
に伺いますので、ご協力をお願い
します。提出された内容は、統計
以外には絶対に使用されません。
行政経営課225局2180。

県「景気対策特別融資」のご案内

《対象》最近3カ月の売上高など
が前年同期と比べ5%以上減少し
ている中小企業者(市の認定が必要)
《融資限度額》8,000万円《融資
期間》10年以内《利率》年1.8%以
内。県内の取り扱い金融機関窓口へ。
県金融課045・210局5677。

中小企業利子補給金申請書の送付

市の融資制度などを利用されて
いる事業者(利子補給対象者のみ)
に12月下旬に申請書を送付しま
す。借入金融機関に早めに提出し
てください。産業振興課225
局2830。

「厚木市史たより」第7号を発行

《内容》「登山1号墳と国道246号
線」「清源院及び清源院文書につ
いて」「相模厚木停車場」《配布
場所》公民館、中央図書館、郷土資
料館、文化財保護課など。文化
財保護課225局2060。

みんなの声を
つくるまち

《意見交換会》
◇表彰条例の改正について
12月14日、16時30分～17時。市
役所第2庁舎。当日直接会場へ。
秘書課225局2009。
◇指定NPO法人制度について
12月16日、11時～12時。市役所
第2庁舎。当日直接会場へ。
市民協働推進課225局2141。
《パブリックコメント》
●障害者福祉計画(案)骨子
《閲覧期間》12月1日～平成25年1
月4日。243-8511障がい福祉課
225局2225・224局0229・e-mail=
2100@city.atsugi.kanagawa.jp
●福祉サービス事業の見直し
《閲覧期間》12月1日～平成25年1
月4日。243-8511高齢福祉課225
局2224・221局1640・e-mail=
2000@city.atsugi.kanagawa.jp
●七沢弁天の森キャンプ場条例廃止
《閲覧期間》12月6日～平成25年
1月6日。243-8511青少年課225
局2580・224局9666・e-mail=
8700@city.atsugi.kanagawa.jp
いずれも閲覧場所は各課窓口、
市政情報コーナー、公民館、本厚
木・愛甲石田駅連絡所、総合福祉
センター、中央図書館、市ホーム
ページ。応募資格は、市内在住在
勤在学の方または市内で活動する
個人・法人・団体。応募は、閲覧
場所にある用紙を備え付けの「わ
たしの提案」箱に投函するか、直
接または郵送、ファクス、Eメー
ルで問い合わせ先へ。

あつぎ健康相談ダイヤル24
さわやか1番 よいこころ
0120-31-4156

秋の叙勲
秋の叙勲が発表されました。市内
で受賞された皆さんを紹介します。
おめでとうございます。
瑞宝双光章
山口巖雄さん(70・温水) 地方自治功勞＝元厚木市長
竹本土佐子(本名・林三子ヨ)さん(70・下荻野) 文化財保護功勞＝義太夫節演奏家
朝生旭さん(74・七沢) 教育功勞＝元公立小学校長
加藤裕さん(70・温水西) 運輸行政事務功勞＝元中国運輸局鉄道部長
藤原義明さん(80・毛利台) 教育功勞＝元公立中学校長
瑞宝双光章
丸田敏さん(75・寿町) 教育功勞＝元公立小学校長
瑞宝単光章
鈴木清さん(67・戸田) 鉄道業務功勞＝元相模鉄道樹横浜区助役
野老榮治さん(69・毛利台) 鉄道業務功勞＝元東京急行鉄樹園調布駅長
瑞宝双光章
平川雅保さん(71・鷹尾) 警察功勞＝元県警部
伏見幸雄さん(71・三田南) 警察功勞＝元警視庁警部
瑞宝双光章
永島優さん(71・上古沢) 消防功勞＝元厚木市消防監
以上の受賞者に加え、瑞宝単光章に井上旭さん(警察功勞＝元県警部補)、瑞宝小綬章に1人の方が輝きました。

タウンガイド

12月		1月	
日	月	日	月
	1	1	2
2	3	6	7
9	10	13	14
16	17	20	21
23	24	27	28
30	31		

マイタウンクラブ
 印の番号でウェブ上からも、詳しい情報をご覧いただけます。「ウェブ申」と記されたものは、ウェブ上から申し込みができます。
 www.mytownclub.com
 [携帯電話は末尾に/cpを]

障害者総合相談室ゆいはあと
 身体・知的・精神障がいなどのある方や家族から、生活のニーズに応じた相談を受けています。障害福祉サービスの他、就労、教育、住環境、医療、健康、権利擁護など生活全般の相談を受け付けます。
《開館時間》 平日の9時～17時 **《場所》** 総合福祉センター2階。☎225局2904。

障がい者の手づくり製品展示・即売会
 12月4日～7日、10時～14時30分。市役所本庁舎。☎障がい福祉課☎225局2221。

森林セラピー基地案内人のハイキングと温泉
《七沢会場》 12月12日、9時30分～15時。東丹沢七沢観光案内所（七沢751-1）集合。半谷林道のハイキングと温泉。
《飯山会場》 12月18日、9時30分～14時30分。飯山温泉ふるさとの宿（飯山5547）集合。飯山白山森林

公園のハイキングと温泉。いずれも定員は20人。1,000円（入浴料含む）。弁当、飲み物、レジャーシート、タオル（入浴用）をお持ちください。雨天中止。☎いずれも前日までに東丹沢七沢観光案内所☎248局1102へ。申し込み順。

体育協会のスポーツ教室
◆第2回ジュニアバドミントン教室
 1月12・19・26、2月9・16日（全5回）。14時～16時。南毛利スポーツセンター（温水西1-27-1）。初歩的技術の講習。市内在住の小・中学生40人。2,000円。ウェブ申☎120102

■スキー教室
 2月8日～11日（3泊4日）。蔵王温泉スキー場（山形県）。基礎技術の講習。市内在住在勤の方70人（児童、生徒は除く）。40,000円。ウェブ申☎120547

いずれも申し込みは、ハガキまたはファクスに教室名、〒住所、氏名（ふりがな）、年齢、性別、電話番号を書き、◆は12月15日、■は1月3日（いずれも必着）まで

に〒243-0039温水西1-27-1市体育協会☎247局7212・☎248局7151へ。抽選。

健康づくり大学
 12月19日、9時30分～14時30分（小雨実施）。東丹沢七沢観光案内所集合。ノルディックウォーキングと旅館での食事・入浴。定員40人。3,000円（食事、入浴料含む）。☎12月12日までに東丹沢七沢観光案内所☎248局1102へ。申し込み順。

歯と歯ぐきの健康相談
 12月10日、9時30分～11時30分。保健センター。歯科衛生士による効果的なブラッシング方法の個別指導。定員20人。無料。☎当日直接会場へ。☎健康づくり課☎225局2201。☎120113

インターナショナルティーサロン
 12月9日、14時～16時。パートナーセンター。外国籍市民との交流会（日本語でのおしゃべりも可）。クリスマス会を実施。定員100人。茶菓子1品または100円持ち寄り。☎当日直接会場へ。☎人権男女参画課☎225局2215。☎220013

木造住宅耐震診断無料相談会
 1月15日～18日、10時～16時。市役所本庁舎。木造住宅（在来軸組み工法）の耐震診断相談会。無料。家の平面図や間取り図などをお持ちください。☎当日直接会場へ。☎建築指導課☎225局2431。

健康あつぎ推進リーダーの教室「初笑い健康落語」
 1月19日、10時～11時30分（受け付けは9時30分から）。荻野公民館（中荻野594-1）。東京大学落語研究会による落語。市内在住の方60人。無料。☎12月3日から健康づくり課☎225局2201へ。申し込み順。☎120576

物忘れ予防・脳いきいき教室
 1月17日～3月7日の毎週木曜（全8回）。14時～16時。パートナーセンターほか。軽運動を取り入れた認知症予防。市内在住で65歳以上

の方25人（要支援、要介護認定者を除く）。無料。☎直接、電話またはハガキ、ファクスに教室名、〒住所、氏名、生年月日、電話番号を書き、12月21日（必着）までに〒243-8511高齢福祉課☎225局2388・☎221局1640へ。抽選（初めての方を優先）。ウェブ申☎120583

ヤンコミLIVE！観覧者募集
 12月21日、19時～20時30分。子ども科学館。プラネタリウムでの星空投影と公募ミュージシャンによる演奏。定員78人。無料。☎12月10日までにヤングコミュニティセンター☎221局1110へ。抽選（市内在住在勤在学の方を優先）。ウェブ申☎120524

キッズ☆プラネタリウム
 12月23日、13時30分～14時10分。子ども科学館。冬の星座解説。定員90人。無料。☎12月15日（市外の方は翌日）から子ども科学館☎221局4152へ。申し込み順。☎120559

みどりの講習会
 1月26日、2月2日（全2回）。13時30分～15時50分。ぼうさいの丘公園（温水783-1）。庭木のせん定や接ぎ木の講習。市内在住の方50人。無料。☎ハガキに〒住所、氏名（ふりがな）、電話番号を書き、12月17日（消印有効）までに〒243-0036長谷626-1環境みどり公社☎225局2774へ。抽選。ウェブ申☎120569

親子の絆づくりプログラム「赤ちゃんがきた!!」
 1月17・24・31日、2月7日（全4回）。10時～12時。総合福祉センター。赤ちゃんと一緒に楽しく参加できる講習会。市内在住で生後2～5カ月の乳児を初めて育てている母親12人（全日程に参加できる方）。無料。☎12月27日までに子育て支援センター☎225局2922へ。抽選。ウェブ申☎120585

市斎場施設見学会
 12月16日、①9時30分～②11時～③13時30分～。市斎場（下古沢548）。現地集合。施設の見学と葬

あばしり オホーツク流氷まつり
 320017公募
 市民訪問団
参加者募集
 友好都市・網走市の「第48回あばしりオホーツク流氷まつり」に参加する市民訪問団を募集します。
《期間》 2月8日～10日（2泊3日）
《対象》 市内在住で20歳以上の方15人
《参加費》 62,000円程度（航空機利用）
 ※説明会あり☎ハガキに〒住所、氏名（ふりがな）、年齢、性別、電話番号を書き、12月19日（必着）までに〒243-8511秘書課へ。抽選（初めての方を優先）。
 ☎秘書課☎225局2050

あゆみ橋付近で夜間交通規制を実施
 圏央道（さがみ縦貫道路）の建設事に伴い、あゆみ橋付近で夜間交通規制が実施されます。通行止め区間は、歩行者・自転車も通行できません。通行制限区間は、車両の出入りなどに一部制限があります。

予定日時
 12月18日～20日、22時～翌朝5時（予備日12月21日）

迂回先
 相模大橋（県道40号横浜厚木）など

☎中日本高速道路厚木工事事務所☎223局8721
 三井住友建設☎236局6540

丹沢大山 観光写真コンクール 作品募集
 最優秀賞5万円
 丹沢大山地域の魅力が伝わる写真（四季、イベントなど）を募集します。
《規格など》 ①六つ切り・ワイド六つ切り、カラー・モノクロ可（デジタル加工したものは不可）②1人3点までの未発表作品。☎観光振興課などにある応募用紙（市ホームページからダウンロード可）と作品を直接または郵送で1月7日（消印有効）までに〒243-8511観光振興課へ。
 ☎観光振興課☎225局2820

冬の夜にきらめくイルミネーション Atsugi Brilliant Story 2012

川の流れや森の木々、動物たち。ことしのイルミネーションは厚木の豊かな自然を幻想的に表現しています。50,000球の美しい光が、訪れる人々を優しく包み込みます。

点灯期間
平成25年1月31日まで
17時～23時
(12月23日～25日は、午前1時まで)

点灯場所
本厚木駅北口広場
岡商業にぎわい課 ☎225局2840

重なり合った木とクリスタルストーン、シルバーの鹿が光を乱反射させる。装飾には環境に優しいLED(発光ダイオード)と風力発電を使用



年末の交通事故をなくそう

年末は、交通量が増えるとともに飲酒の機会が多くなります。事故防止に努め、無事故で新年を迎えましょう。

岡くらし安全課 ☎225局2760

**市民
総ぐるみ
大会**

日時 12月9日(日)
13時30分～
会場 文化会館大ホール

**駅前
交通安全
パレード**

日時 12月15日(土) 13時30分～(雨天中止)
コース 厚木中央公園～あつぎ大通り～本厚木駅前～厚木一番街通り～厚木中央公園



内容 交通安全功労者などの表彰と弁護士・大淵愛子さんによる「自転車の交通ルール」をテーマにした講演。当日直接会場へ。無料。
プロフィール▶昭和52年生まれ。平成13年弁護士登録。東京弁護士会所属。テレビ番組などでも活躍中。



女子プロゴルファー
斉藤愛璃選手も
パレードに参加



プロフィール▶平成元年生まれ。厚木市在住のプロゴルファー。8歳からゴルフを始め、23年にプロテストに合格。24年3月、「ダイキンオーキッドレディス」で初優勝し、脚光を浴びる。

